

高齢者支援と教育環境の整備基盤を問う

身寄りのない高齢者対策について

身元保証団体を紹介し、施設や医療機関の相談員と連携を図り、入院・入所等へつなげている。

身寄りのない高齢者が入院や入所を必要とした際、地域包括支援センターが医療機関や施設などの関係者とのような手続きを進めているのか。

死後対応の現状と今後の包括的支援方針について

保健福祉部長 高齢者等

保健福祉部長 「高齢者等終身サポート事業」として、身寄りのない高齢者が入院や入所が必要になった場合には、地域包括支援センターが本人へ

終身サポート事業者等と未契約の身寄りのない高齢者が亡くなり、引き取り手がない場合には、「墓地・埋葬等に関する法律」に基づき、自治体が対応することとなる。

学校施設における校庭の排水性向上について

頼れる身寄りがない高齢者等や判断能力が不十分な方に対する、日常生活支援や入院・入所の手続支援、葬儀等の死後事務支援については、今後国との動向を注視しつつ、適切に対応していく。

校庭の排水不良がもたらす教育活動への影響や、現場への負担について。

教育部長 グラウンドが

水浸しになる原因としては、定期的なグラウンド整備不足もあるが、近年、頻繁するゲリラ豪雨等に対応できていないことが要因として考えられる。降雨後一定時間経過しないとグラウンドの水がはけないため、一時的ではあるが、学校運営に支障をきたしている状況である。

今後の結城市としての大きな方針と決断について。

市長 結城東中学校の体

育祭については、前日の降雨によるグラウンド排水不良があったものの、学校職員、PTA、生徒等による柔軟な対応のおかげで、無事に開催できたことに対し、感謝を申し上げるとともに、このような事案をなくせるよう、改善に向けた取組の必要性を感じている。児童生徒の教育活動に影響が出ないよう、グラウンドを含めた学校施設の改善に向け、尽力する。



館野 徹弥
(たての てつや)



録画映像
はこちら

